

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	小規模校再編整備事業				シート番号	038-127
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	施設	課 評価責任者(課長名) 永野

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	4	教育・生活環境の充実	無
	2	事業開始年度	平成 28 年度		終了(予定)年度	令和 2 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画	未来をつくる堺教育プラン			
5	事業実施の経緯	少子化の進行などから、原山台小学校と原山台東小学校は小規模校となっているため、小規模再編整備を実施。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	原山ひかり小学校(原山台小学校と原山台東小学校の再編整備校)				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	小規模校の適正化を図ることにより、児童生徒や学校運営に関する様々な課題を解消し、子どもたちの健全な成長とより良い教育環境を整えることができる。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	現原山台小学校の跡地に両校を再編整備した原山ひかり小学校の新校舎を既存校舎を改修して整備し、令和2年度から運用を開始する。(体育館・プール・給食調理場は改築) 令和2年度は家屋事後調査業務のみ <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
10	直接実施以外の主な支出先						

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	183,158	123,852	1,508,700	1,042,481	2,053,940	1,589,725	2,000	
主な事業費内訳	工事請負費	千円	132,500	83,899	1,486,800	1,036,584	1,965,500	1,518,934	
	委託料	千円	49,800	39,953	21,900	5,897	49,000	45,363	2,000
	その他	千円	858		0		39,440	25,428	
		千円							
財源内訳	国・府支出金	千円	0	0	168,737	164,494	182,670	297,439	
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円	129,700	70,700	1,110,600	750,300	1,342,200	964,500	
	その他(公共施設特別整備基金繰入金)	千円	53,400	0	229,363	127,600	500,800	0	
一般財源	千円	58	53,152	0	87	28,270	327,786	2,000	
12 人件費 (b)	千円	24,600	24,600	24,600	24,600	24,300	24,300	820	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	207,758	148,452	1,533,300	1,067,081	2,078,240	1,614,025	2,820	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	小規模校再編整備事業	シート番号	038-127
-------	------------	-------	---------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	原山ひかり小学校再編整備工事が令和2年3月に竣工						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		校舎外解体工事の実施、原山ひかり小学校再編整備工事の実施	校	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	
			達成率	100%	100%	100%	100%	
			評価	良い	良い	良い	良い	
	算出方法・設定根拠など	旧原山台小学校校舎外解体工事の実施、原山ひかり小学校校舎外改築工事の着手						
	16	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		目標値						
		実績値						
		達成率						
		評価						

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	原山ひかり小学校再編整備	校		1	1	
	②	上記①にかかる年間経費	千円		1,067,081	1,614,025	
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位		1,067,081,000	1,614,025,000	
	備考(算出についての説明等)						
18			区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	①						
	②	上記①にかかる年間経費	千円				
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位				
備考(算出についての説明等)							

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析(その他、関連情報に基づいた分析)
	<p>継続事業であるため、工事予算が確保でき、予定通り令和2年3月に再編整備工事が竣工した。</p>

- 【分析のチェックポイント】**
- 事業の達成度はどうだったか。
 - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
 - 資源投入は適切でしたか。
 - 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
 - 有効性は高いですか。低いですか。
 - 効率性は向上していますか。
 - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
 - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	小規模校再編整備事業	シート番号	038-127
-------	------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 望ましい集団規模で教育を受ける機会を確保することが難しくなる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 少子化に伴う学校の小規模化へ対応する必要がある。 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 学校の適正配置については常に検討課題であるため
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 国の動向を注視し、急を要する整備及び国補助を活用した整備改修等している。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (建築部) 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 他政令市の学校規模適正化に関する条例、基本方針を情報収集することによって、本市における小規模校の再編整備に係る業務の改善を図る。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 小規模校では、子どもたちの発表や活躍の場が多くなり、教職員もきめ細かく関わりやすいなどの利点がある一方で、児童生徒が集団の中で、多様に考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨する機会が少なくなる課題が考えられる。これらの課題を解消し、子どもたちにとってより良い教育環境を整えるためには、学校規模の適正化を進める必要がある。 ※原山台小学校と原山台東小学校の再編整備は今年度で終了		